



# 一茶の



判読した小林一茶の俳句を案中見舞いにし  
たたためた小布施さん(長野県山ノ内町)

中に、一文  
なったこの  
いるのに気  
伝えた。  
一茶がし  
詠んだ初の  
一茶記念館  
員は「目の  
に、読めな

人などの細胞膜に存在するタンパク質「RAMP2」が血管を健康に保つ役割を担っていることを、信州大大学院医学系研究科の新藤隆行教授(循環病態学)らのグループがマウスを使った研究で初めて突き止めた。

## 信州大グループ 働き解明

心臓や肝臓などの臓器不全の治療に役立つことが期待される。研究成果は十九日の米国心臓協会の雑誌で発表する。

新藤教授らは血管や心臓のRAMP2の働きを人工的に抑えたマウスを作成。マウスは血管の壁が壊れて老化が進み、心不全や腎不全などを発症した。血管や心臓を作る細胞の健康状態を維持するのに別のタンパク質が重要な役割を果たすことが知られているが、この実験で、RAMP2がこのタンパク質と結合することで血管の老化を抑えている

## 血管の健康保つタンパク質

### 臓器不全の治療 実用化に期待

ことが分かった。グループはさらにRAMP2と特異的に結合する物質を発見。この物質を使った細胞実験で、RAMP2の働きが高まり、血管の細胞の維持に一定の効果を上げたという。

新藤教授は「五年後を目標に、薬を作るなど実用化したい」と語った。広範囲で応用期待京都大医学部の錦見俊雄准教授(内分泌代謝内科学)の話 RAMP2の血管での作用を特定した意義深い発見。広い範囲での応用が期待できるのではないか。

## いじめ対策で「教育再生会議」 道徳の教科化提言へ

安倍晋三首相が進め策には道徳教育の充実の教育再生実行会議が必要だ」として、道徳(座長・鎌田薫早稲田大総長)の第二回会合提言案を固めた。月内が十五日、首相官邸で開かれる次回会合あり、「いじめ問題対」で、安倍首相に提言書

を出す。実行会議は安倍首相のあいさつ以外は非公開。

鎌田座長によると、

この日の会議では、いじめ問題対策には道徳教育の充実が必要との意見で一致。「道徳教育の指導法が確立しておらず、教員間でばら

応援される立場になってあらためて、声援の力をかみしめている。

国立名古屋医療センター(名古屋市中区)の病棟の一室。愛知県北名古屋市の安江都子さん(40)のベッドの脇には、プロ野球中日ドラゴンズの選手やファンの寄せ書きがある。

安江さんは三十年間、球場や練習場に通い続けている熱心な竜党。選手や球団関係者、熱心なファンの間では知らない人がいないほどだ。

夫の他界と義母の介護が重なって心労で通院していた際、担当医が気分転換にと、ナゴヤ球場に誘ってくれたのがファンになったきっかけ。内野席からでも、外野席の応援団の

## 闘病 燃えよ「ドラの母」



熱気は十分伝わり、沈んでいた気持ちが癒やされた。

そのうち二軍戦やキャンプ、自主練習にも足しげく通い、母や祖母のような存在として、さまざまな人に愛された。「明日から一

虹

「も」  
「い」  
「は」  
「さん

つきがある。道徳教育の枠組みの抜本的な強化が必要」との意見が複数の委員から出た。

一方で、道徳を成績評価の対象とするのか、教科書をどうするか、教員免許をどうするかといった具体的な中身は議論に至らなかったという。

プロ野球応援訴訟  
応援団の敗訴確定  
最高裁が上告棄却

プロ野球・中日ドラゴンズの私設応援団のメンバーらが、十二球団と社団法人「日本野球機構」などを相手に、球場への入場拒否や鳴り物応援を禁止した措置の取り消しと慰

謝料を求めた訴訟  
最高裁第一小法  
浦善樹裁判長  
援団側の上告を  
決定をした。応  
が敗訴した二審  
確定した。決定  
日付。

球団側は二年、私設応援団に対しトランペーンによる組織的